

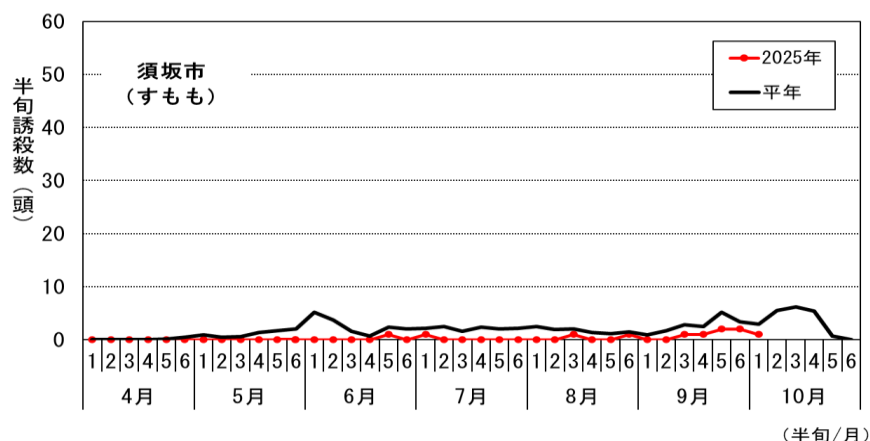
# チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

## 【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

## ○須坂市（病害虫防除部）



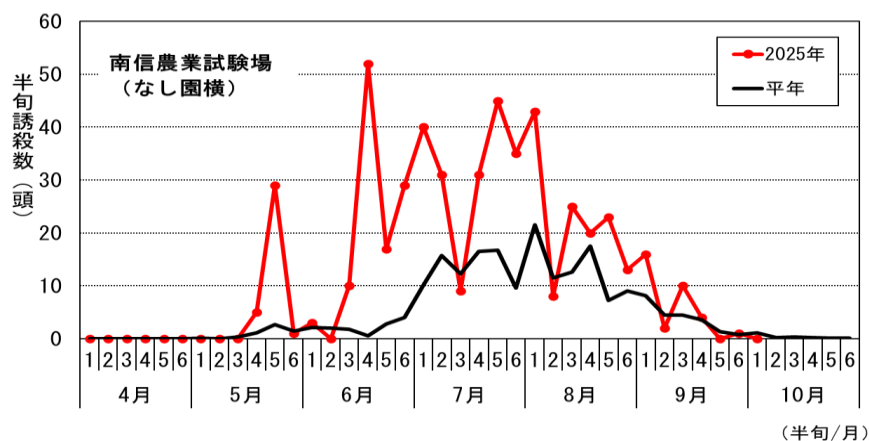
【調査地点】（標高370m すももほ場）

・ 平年は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

・ 8月第6半旬に3半旬ぶりに1頭記録されて以降、ごく少数ではあるが、誘殺が続いている。

## ○県予察ほ（高森町 南信農業試験場）



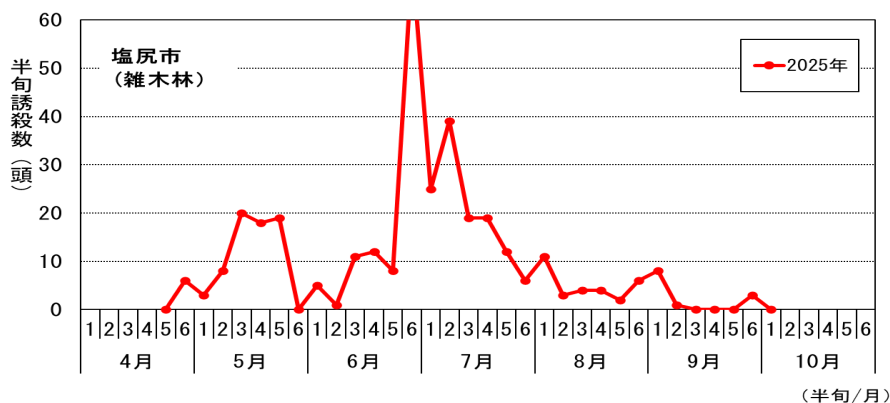
【調査地点】（標高560m 場内）

・ 平年は2015年～2024年の平均値。

【コメント】

・ 8月第2半旬以降、おおよそ平年を上回る誘殺数が記録されていたが、9月第4半旬以降は平年と同等以下となっている。

## ○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】（標高560m 雑木林）

・ 今年度から観察を開始したため、平年値、前年値なし。  
・ 設置場所は越冬地となる雑木林

【コメント】

・ 雑木林で観察しているが、9月第2半旬以降は第6半旬を除きほぼみられなくなっている。